

☆公害による健康被害を許すな!

☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



モズ 画:橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 芹沢 芳郎
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387

人類の未来を決めるCOP15

地球環境と大気汚染を考える全国市民会議 早川 光俊

12月7日から2週間の予定で、デンマークのコペンハーゲンで気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15)と京都議定書第5回締約国会合(CMP5)が開催されます。このCOP15/CMP5で、京都議定書が規定していない2013年以降の削減目標と制度枠組みに合意することになっていきます。

COP15/CMP5の主要な交渉テーマは、アメリカを含めた先進国の2013年以降の削減目標と、排出量が増加している主要な途上国(中国やインドなど)の抑制行動についての合意ですが、問われているのは「気候系に対し危険な人為的影響を及ぼさない程度に温室効果ガス濃度を安定化させる」(条約2条)ための世界全体の協調した長期的な削減目標、制度枠組みや行動に合意できるかどうかです。

2℃が限度

「気候系に対し危険な人為的影響を及ぼさない程度」については、産業革命以前からの平均気温の上昇を2℃未満に抑制す

るといのが共通の認識になっています。2007年に発表されたIPCC第4次報告書は、平均気温の上昇を20~24℃に抑えるためには、世界全体のCO₂排出量を2015年までにピークから削減に向かわせ、2050年までに2000年比で50~85%削減することが必要としています。とりわけ、日本などの先進国は、2020年までに90年比で25~40%削減し、2050年までに80~95%削減する必要があります。

コペンハーゲンで合意が目指されているのは、アメリカを含む先進国が2020年までに90年比25~40%削減する中期目標と、世界全体で2050年までに少なくとも50%削減を目指す長期目標の合意です。しかし、COP15直前の12月3日時点でアメリカを含む先進国が発表している中期目標を積み上げても90年比で12%~18%程度にしかなりません。

日本の役割

8月末の政権交代後、日本が90年比25%削減の中期目標を公

表し、あらゆる政策を総動員して実現を目指すとしたことは、世界の喝采を浴びました。しかし、この25%削減はすべての主要国が参加した目標合意が前提とされています。日本政府はこうした前提条件などつけずに、25%削減を断固として実行する意思を示すべきです。

また、革新的なメカニズムにより途上国への資金支援をするとする「鳩山イニシアチブ」を策定するとしたことも、大きな期待が寄せられています。しかし、11月2日に発表された「鳩山イニシアチブ第1弾」は、日本の拠出額について明らかにしなかつただけでなく、その資金メカニズムについても、途上国の期待と懸念に込めていないものでした。

加速する地球温暖化

11月23日、世界気象機関は、2008年の大気中のCO₂濃度は385.2ppmに達し、過去最高値を更新したと発表しました。今夏(2009年6~8月)の世界の海面水温も16.98℃と、観測記録がある過去130年間の中で最高を観測しています。英国や米国、オーストラリアなどの研究者は対策が講じられなければ、今世紀末には地球の平

均気温が最大2℃上昇し、南極の氷床の融解などで海面は最大で2m上昇する恐れがとの報告を発表しています。

地球温暖化は、IPCC第4次報告書の予測をはるかに超えて進行しており、破局へのカウントダウンが始まっています。気候変動問題への対応はまさに待った無しの人類全体の課題になっていきます。

コペンハーゲンには、アメリカのオバマ大統領を始め、日本の鳩山首相、中国の温家宝首相など、85カ国の世界の首脳が参加すると報道されています。

オバマ大統領に与えられたノーベル平和賞は、核兵器の廃絶と気候変動問題への貢献を期待して与えられたものであり、オバマ大統領自身、このノーベル平和賞をすべての国の人々への希望を代表して、「行動への呼びかけとして受け入れる」としています。いま、「すべての国の人々」が希望していることは、核兵器の廃絶とともに、人類の健全な生存を脅かそうとしている気候変動の防止であることは明らかです。いまこそ、オバマ大統領を始め世界のリーダーは、次代を担う世界の子どもたちのために、そのリーダーシップを発揮すべき時です。